

# 2019年度 神戸建築デザインスクール シラバス

## ① 講義(全14コマ)

デザイン史		デザイン論	
目的・方針	本講義は、主に建築を中心とした近代（1800年代後半）の様々なデザインの成立過程について、当時の社会的な状況や背景といった歴史的な流れと併せて体系的に理解することを意図したものです。 全7回の講義を通して、デザインと社会との関わりをより深いレベルで理解し、現在の私たちの立ち位置を客観的に捉え、これからのデザインのあり方や可能性について考えることのできる視座を養うことを目的としています。	目的・方針	本講義は、建築を中心とした名作と呼ばれる身の回りの様々なデザイン(インテリア・家具・グラフィックなど)について、個々の事例を紹介するとともに、それらのデザイン的な特徴について科学的な視点（デザインの理論）から構成原理を読み解き、デザインの本質について理論的な理解・解釈を可能にするものです。 全7回の講義を通して「デザインを見る目」を格段にレベルアップすることを目的としています。
①	<b>デザインとクラフト（デザインの黎明）</b> 1800年代後半のヨーロッパにおける技術革新・産業革命に伴い生じた「新たなデザイン」について学びます 開講日 4/13, 10/19	①	<b>建築家・建築デザインとは</b> 建築家とはどういう職能か、何をもってデザインとするのかについて正しい理解・感覚を身につけます 開講日 4/20, 10/12
②	<b>デザインと芸術運動（思想とデザインの関わり）</b> ヨーロッパ各地で興った芸術運動と建築・デザインとの関わりや「スタイル」の創出過程について学びます 開講日 5/25, 11/9	②	<b>デザイン力を身につける実践方法</b> 建築家・デザイナーになるためのデザイン力を身につける方法について、より実践的で具体的な内容を学びます 開講日 5/18, 11/16
③	<b>新たな建築の発明・デザインの潮流（モダニズム）</b> モダニズムが生まれた時代背景とその作品群から、モダニズムとは何かを学びます 開講日 6/8, 11/30	③	<b>デザインの解剖学①（家具）</b> リートフェルトの「レッド・ブルーチェア」を対象に、その構成を解剖し、デザインの理論について学びます 開講日 6/15, 12/14
④	<b>モダニズムの展開とその周辺①（建築家編）</b> ル・コルビュジエをなど、巨匠たちが手掛けた作品を事例に、モダニズムの創出とその展開について学びます 開講日 6/22, 12/21	④	<b>デザインの解剖学②（インテリア）</b> ピエール・シャローの「ガラスの家」を対象に、インテリアの構成とその特徴・新たな知見について学びます 開講日 7/13, 1/25
⑤	<b>モダニズムの展開とその周辺②（デザイナー編）</b> 巨匠建築家が活躍する一方、デザイナーと称される人々が展開したもうひとつのモダニズムについて学びます 開講日 7/20, 1/18	⑤	<b>デザインの実務とプロセス・その働き方</b> デザイン業務の受注から完成まで、実際の作品を事例として一連のデザインプロセスを具体的に学びます 開講日 8/24, 2/8
⑥	<b>モダニズムの脱却と新たなスタイルの構築</b> ポストモダン・脱構築主義のデザインの特徴と、それらを経て現代のデザインに至る過程を学びます 開講日 8/10, 2/15	⑥	<b>デザインの解剖学③（建築・リノベーション）</b> 特に革新的な現代建築作品を対象に、建築および空間の構成法とデザインの展開力について学びます 開講日 8/31, 2/22
⑦	<b>多様化するデザイン時代としての現代</b> 第1線で活躍するデザイナーとその思考、多様化する現代社会における「本当のデザイン」の役割について考察します 開講日 9/21, 3/14	⑦	<b>デザインの解剖学④（その他のデザイン）</b> ジャンルを問わない様々なデザインを事例として、その着想法や共通する考え方を学びます 開講日 9/14, 3/21

## ② 課題(全15コマ)

デザイン力を身につけることや、デザインについてより多くのことを知るためには、実際に手を動かして課題に取り組むことが最も近道です。この実際の制作を一度経験することによって、スキルだけでなくデザイン思考（デザインを構築していく考え方）は飛躍的に向上します。デザイン系の大学では、4年次に半年から1年をかけ、個々の関心事に応じて「卒業論文」や「卒業制作」に取り組めます。本課題は、それらのミニ版として位置づけています。

①	STEP 1 〈課題設定ゼミ〉	各自の興味・関心から取り組むテーマを相談して設定します。課題は制作（建築デザイン等）がデザイン力向上には最も好ましいですが、本作りやグラフィック制作、デザインコンペや論文なども可としています。 (テーマの例) 「三宮アモーレ広場（通称パイ山）のコンペ案の作成」（広場のデザイン） 「丘の上に建つ新しい障害者用グループホームのデザイン」（建築のデザイン） 「近年のリノベーション事例集―屋外の取り込み方に着目して―」（本・論文などの制作）
②		
③		
④	STEP 2 〈具体的な計画づくり〉	個人の進み具合によって「エスキス」というスケッチでの指導を1対1で行います。 実際に手を動かして図にまとめることによって、考え方を整理したり、考えを表現していきます。簡単な図形やすでにあるものを模写することなど、初学者でも取り組める内容からスタートし、徐々に発展させていくので絵を描くことを苦手とする人でも問題ありません。本づくりや論文作成についても段階を経た指導をしていきます。 (実際のエスキス) エスキスの様子      初期（考え方を表現） → 図面として表現 → パースや模型などで空間を表現
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩	STEP 3 〈プランの決定・作業〉	計画をより具体的にするための知識やスキル、必要な情報などを個別に議論し、作品としてのクオリティを高めていきます。この段階で、最終的に必要となるスキルや表現方法についても議論し、課題内容や環境に合わせた適切な指導を行っていきます。 (建築作品の場合) 空間の豊かさやそれらを実現するに足る考え（構造や必要寸法など）が形として反映されているか (その他のデザインの場合) 既にあるデザインがどのようなものかリサーチを踏まえた上で、魅力的な作品となっているか (論文やリサーチ) 客観的でオリジナリティが高く、説得力のある内容となるかどうか などの事柄について指導します。
⑪		
⑫		
⑬	STEP 4 〈プレゼンテーションの作成・作品制作〉	これまで作成してきた個々の素材（図面などのグラフィック・模型やテキストなど）を全て一定のフォーマット（形式自由）へ落とし込みます。この段階でも、新たに作成すべき素材やブラッシュアップすべき事項についても議論を経た上で指導をします。 (プレゼンテーションの作成例)
⑭		
⑮		
⑯	※通期生のみ	通期生はカレンダーの関係で第16回目がありません。自分の進み具合によって有効に活用してもらおうコマとして設定しています。

### ③ フリーゼミ(全6コマ)

「フリーゼミ」とは、最近気になっている事柄やワードについて各回でひとつテーマを決め、それについて皆で対面で議論をする頭の体操です。そのため、登校回にこの「フリーゼミ」を設けています。

誰でも仕事や勉強をしていると、その事ばかりに気を取られてしまい、発想が凝り固まってしまうたり、そのことで実はすぐそばに転がっている「ヒント」を見逃してしまっていたりすることが多々あります。

この「フリーゼミ」では、建築やデザインに関することではないテーマを積極的に設けることで、各自の得意分野を披露したり、知見を広めるだけでなく、「考えを掘り下げて物事の本質に辿り着く」訓練にもなります。

毎回テーマに沿ってA4用紙1枚の簡単なレポートを作成し、情報を共有していくいわゆる勉強会です。

テーマは教員と相談の上、関心のあることを持ち回りで決定します。

(テーマの例)

「かわいい」って何だろう

Out of Fashion-ダサイこと-

新しい「あそび」

私の「原風景」 など

### ④ 講評会・発表会等

各自で取り組んでいる課題について、皆と情報を共有することを目的とした講評会(2回)・発表会(最終・1回)を行います。

#### 【講評会】

ひとりで取り組んでいると、他の人がどのようなことをしているのか、専門家はどのような目でそれを見るのか分からなくなることがあります。中間講評会では、外部から建築家・デザイナーを講師として呼び、作品のコメントをもらい、今後どのように進めていくか、問題点は何なのか、などをクリアにします。講師とのつながりもできます。

#### 【最終発表会】

自分の成果物をプレゼンテーションします。プレゼンテーションにもコツがあり、どのようにしたら他者に伝わるのかといった指導は事前に行います。

#### 【その他】

自分の培ったデザイン力を外へアピールするツールとして、作品は自由に発信してもらって結構です。クオリティの高い作品については、当方でギャラリーを借りて展覧会をおこなったり、学会などへ発表する場合があります。

プログラムを全て積極的にこなせば、必ずアピールできる良い作品ができるよう、指導を行います。